

フィリピン共和国

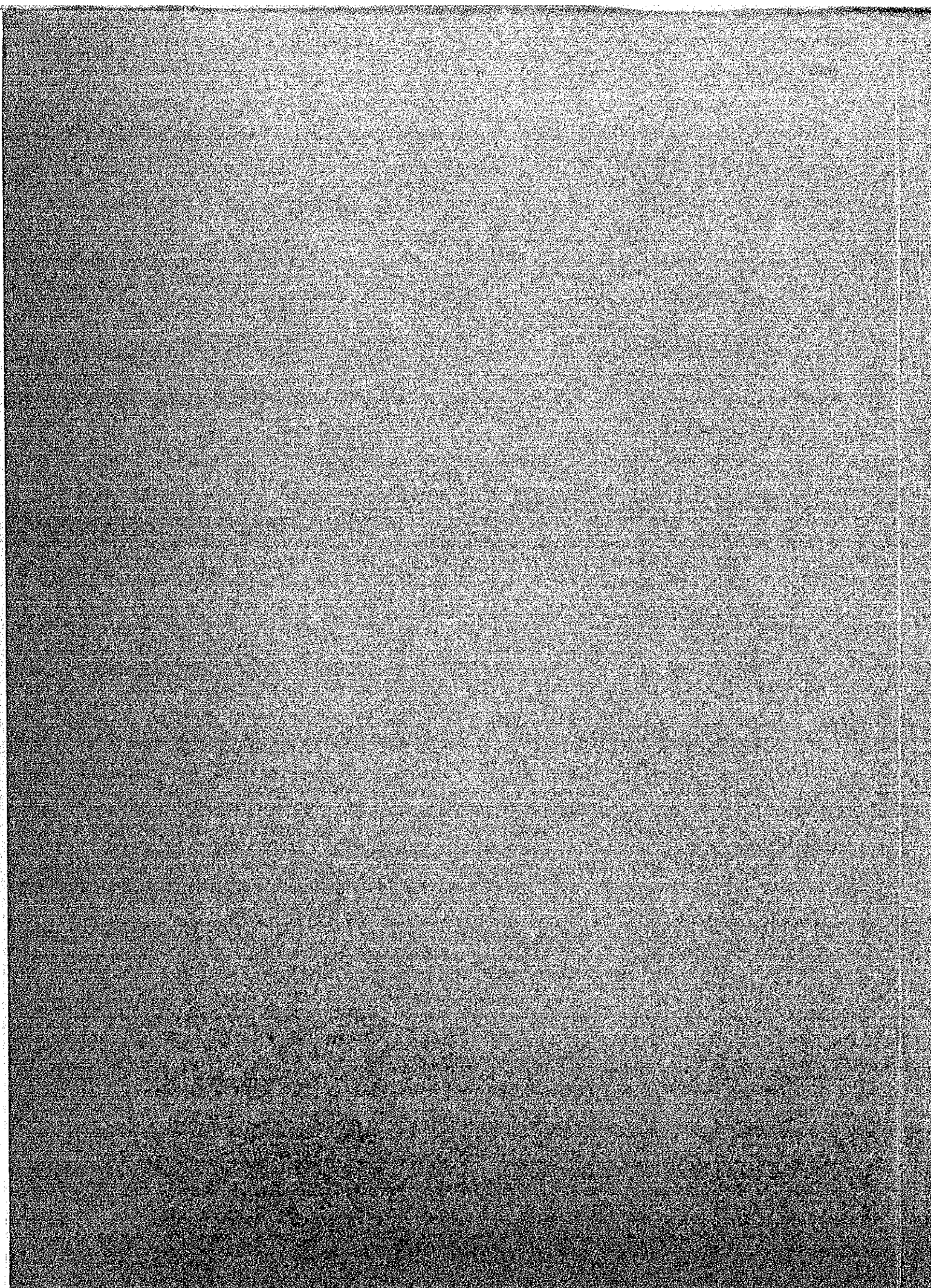
マニラ首都圏南部地区幹線道路網

計画調査報告書

本編

昭和57年3月

国際協力事業団



JICA LIBRARY



1031505[9]

國際協力事業團	
受入 月日 584.8.24	118
登録No. 13955	614
	SDF

序 文

日本国政府はフィリピン共和国政府の要請に基づき、同国のマニラ首都圏における南部地区道路網の建設計画調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこれを実施した。

事業団は、上記計画の重要性に鑑み、㈱パンフィック・コンサルタンツ・インターナショナル、豊嶋国男氏を団長とする12名の専門家からなる調査団を編成するとともに、首都高速道路公団計画部長岡本堯生氏を委員長とする作業監理委員会を設け、調査の推進を図った。

調査団は、昭和56年3月から12ヶ月に亘り現地において同国政府関係者との討議ならびに広範な現地調査、資料収集等を行ない、帰国後更に解析・検討作業を進め本報告書を取りまとめた。

本報告書が、プロジェクトの進展に寄与するとともに両国の友好親善に役立つことを願うものである。

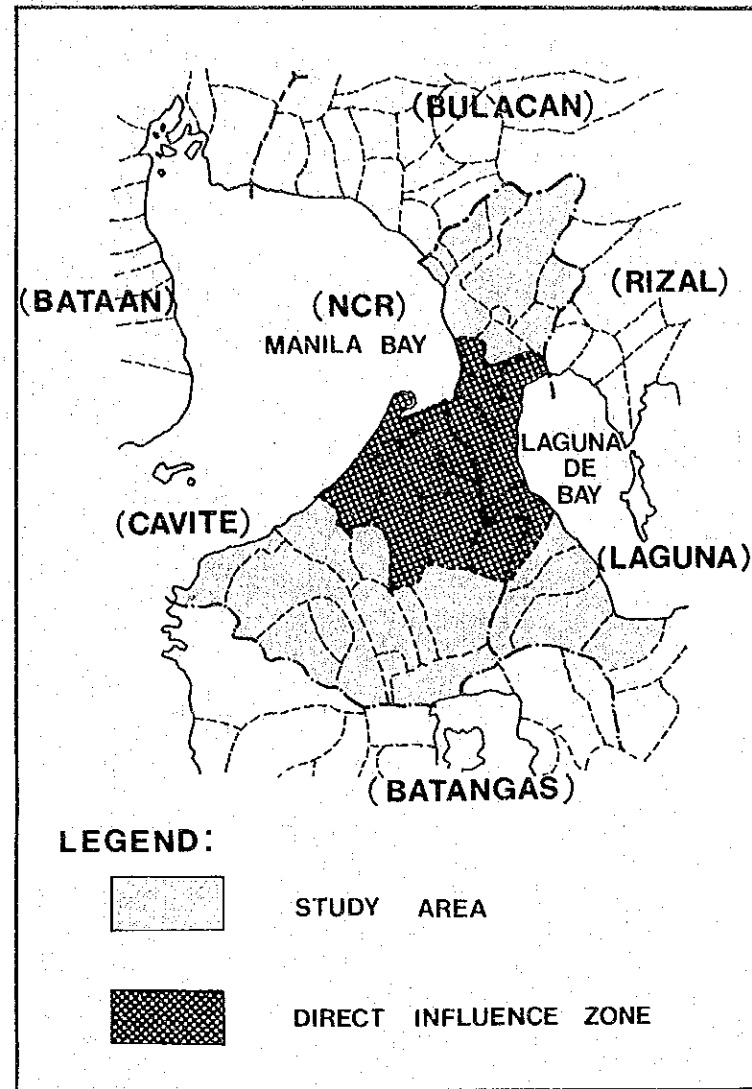
最後にこの調査の実施にあたり多大なる御協力と御支援をいただいた、フィリピン国政府ならびに日本国政府関係機関の各位に対し厚く御礼申し上げる次第である。

昭和57年3月

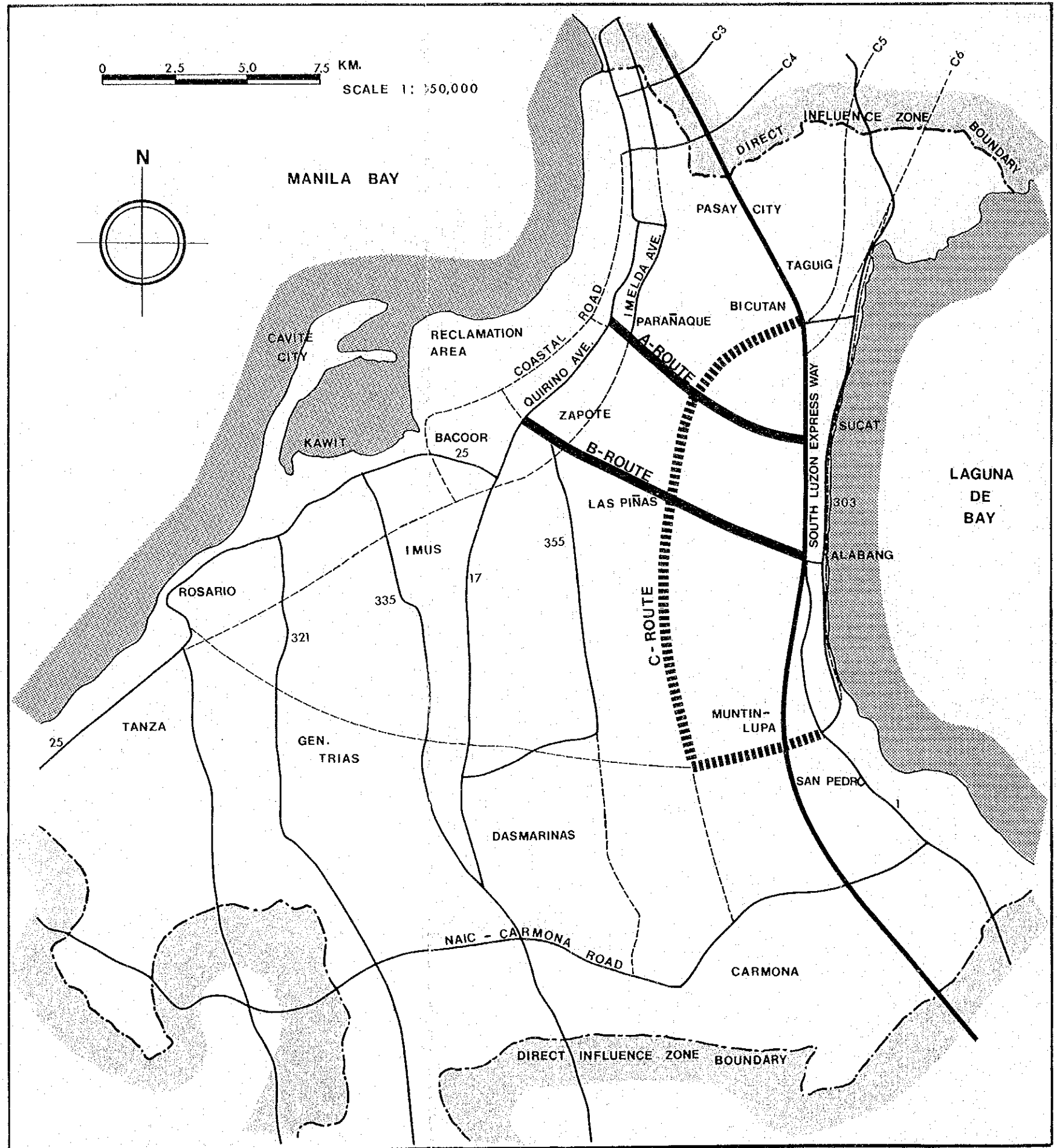
国際協力事業団

総裁 有田 圭 輔

MAP OF STUDY AREA



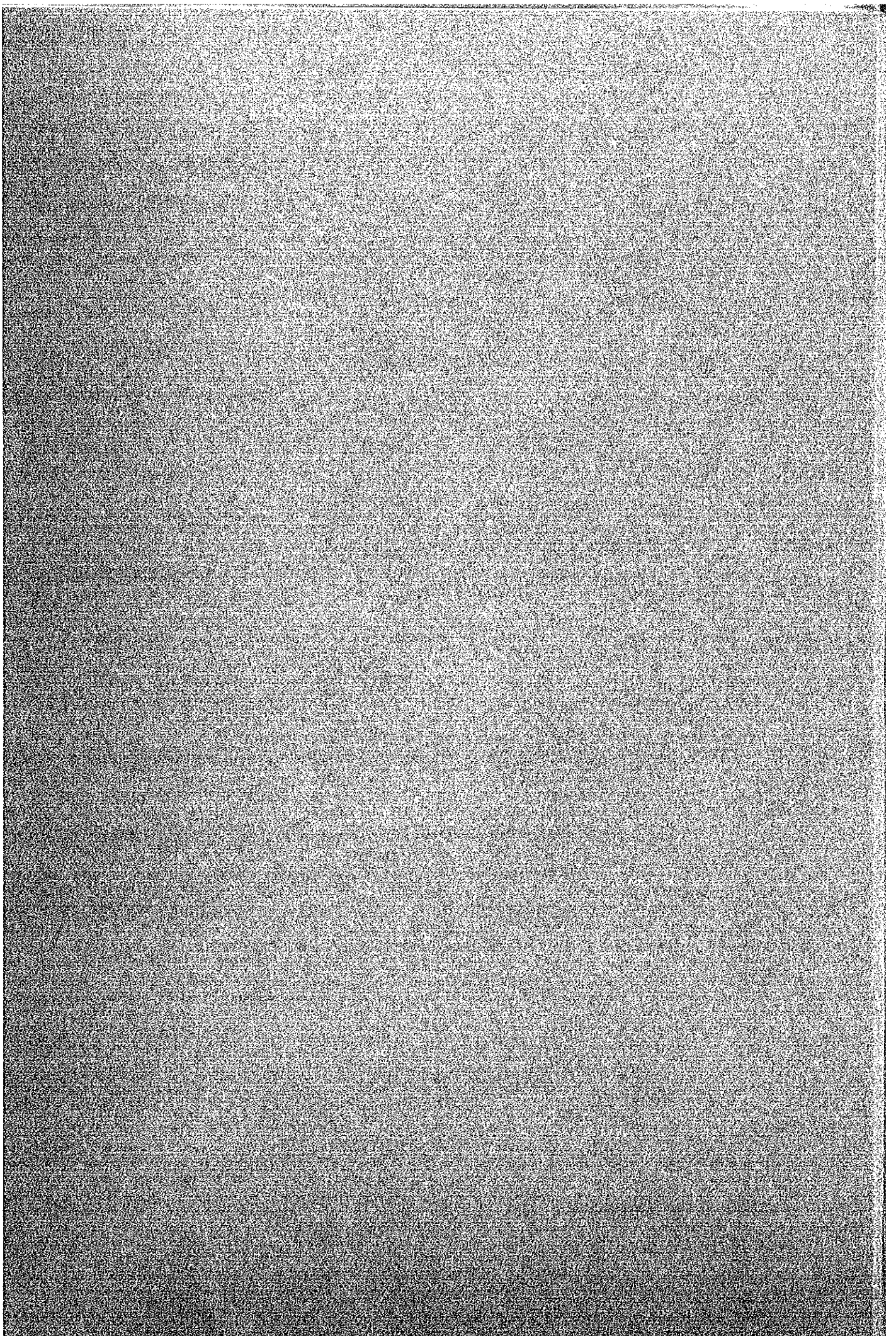
PROJECT LOCATION MAP



LEGEND:

- ROADS TO BE STUDIED UNDER THIS PROJECT (IMPROVEMENT OF EXISTING ROADS)**
- A-ROUTE : PARAÑAQUE - SUCAT RD.
- B-ROUTE : ALABANG - ZAPOTE RD.
- ROAD TO BE STUDIED UNDER THIS PROJECT (NEW CONSTRUCTION)**
- C-ROUTE : TAGUIG - LAS PIÑAS - MUNTINLUPA LOOP RD.
- EXISTING TRUNK ROADS
- OTHER EXPECTED TRUNK ROADS

要約と勧告



要約と勧告

目次

1. プロジェクトの背景	1
2. プロジェクトの重要性	1
3. 調査方法	1
4. 都市化の傾向	2
4.1 首都圏	2
4.2 直接影響圏の設定	2
5. 道路現況	4
5.1 直接影響圏の道路	4
5.2 プロジェクト道路沿いの現況道路	4
5.3 経済と交通	4
6. 直接影響圏の発展動向	6
7. 長期道路網整備計画	7
8. 道路網計画代替案	7
9. 交通量の予測	10
10. 概略設計と工事費の算定	10
10.1 路線代替案の検討と最適ルート決定	10
10.2 概略設計	11
10.3 建設費	11
11. プロジェクト道路の環境への影響	11
12. 便益と経済評価	16
12.1 便益	16
12.2 費用	16
12.3 経済評価	17
13. 結論と勧告	17
13.1 結論	17
13.2 勧告	17
14. 実施計画	18

